

進捗報告書（実行団体）

事業名:	店舗再生による持続可能な地域課題の解決
資金分配団体:	公益財団法人東近江三方よし基金
実行団体名:	愛のまち合同会社
実施時期:	2021年5月～2022年3月
事業対象地域:	滋賀県東近江市
事業対象者:	交通弱者である高齢者や障がい者等の買い物難民、コロナ禍で人とのふれあいが失われた住民 ニートや引きこもり等の若者、農作物や手づくり品の生産者

Version 1.2

日付: 2022年1月12日

I. 事業概要

事業概要
高齢者や障がい者等の交通弱者にとって、身近に生活の必需品を買い求める店は、命を支えるだけでなく店に行くことで人との交流が生まれる唯一の場所でもあった。特にコロナ禍においては、自治会の集いの場や行事が中止されるなど、家に引きこもりの状態にあり、健康にも支障をきたしている。スーパーを再建し、交流スペースを設けることで、暮らしを支える必需品が身近に買い求められたり配達されたりすると共に、店に行くことで、人との交流もでき心身の健康にもつながる。また、店舗を利用する多世代の人が、買い物や農産物等の出荷、イベントを通して交流が生まれ、店舗を核に集落や世代を超えた新たなコミュニティが生まれる。

II. 進捗報告の概要

総括
予定通り店舗改修を行い8月27日にオープンした。店舗内には、生鮮食品や一般商品等、暮らしに必要な品揃えを行った。また、新たに交流スペースを設け、食事や休憩の場、交流やイベントの場としての活用が始まっている。10月からは別法人が「ヘルス&ワーク倶楽部」を平日の午前中に交流スペースを使って健康づくりを行う事業もスタートした。9月6日からは愛東地区の自治会を週1回巡回する「移送販売車」もスタートし、買い物難民の利用が始まっている。

III. 活動実績

アウトプット (今回の事業実施で達成される状態)	進捗状況
・店舗の改修が終わり、スーパーが営業している。 ・移動手段がない人に、宅配サービスや移動販売、送迎サービスが始まっている。 ・交流スペースが利用され、新たな交流や活動が芽生えている。 ・中間就労の若者が作った商品が販売されている。	・8月27日から毎日営業を行っている。これまでのところ来客者数は、平均170人/日ほどで目標に向け、チラシの発行やイベント開催、売り場棚の増設、地元製品の強化など行っている。 ・9月6日から週1回全自治会を回る移動販売を開始。11月27日からは、電動バイクでの宅配事業も始まった。送迎サービスはコロナ禍で各自治会との連携が進んでいない。 ・平均 30人/日 ・イートインや休憩、イベントなどの利用が行われ、平日の午前中は別法人による健康教室が10月からスタートしている。利用平均は15人/日程度で、日々の利用やイベント利用で普及を進める。 ・あいとうふくしモールの若者支援事業が行う「おにぎりや弁当」「野菜」が出荷されている。販売額は目標を超える月平均150,000円となっている。

活動	進捗状況	概要
その1. 暮らしに寄り添った買い物サービスを実施	計画通り	移動販売は9月6日から地区内の自治会を週1回巡回する計画でスタートした。宅配サービスは、電動スクーターを利用し、注文に応じて1日2回配達するサービスとして11月27日にスタートした。送迎サービスは地域との連携が未着手。
その2. 住民が楽しく集える相互安否確認の場に	ほぼ計画通り	相談窓口としてふくしモールの職員を週1回常駐して、困りごとの相談に応じる体制を作っている。
その3. 交流スペースが多用途に利用される	計画通り	イートインの利用や休憩に主に使われている。その他、11月から毎週日曜日は地域の人と教室やマルシェなどのイベントを開催している。また、合同会社集落による介護予防・日常生活支援として、「ヘルス&ワーク倶楽部」が10月からスタートした。
その4. 多様な働き場の場を提供する	ほぼ計画通り	あいとうふくしモールと連携し、引きこもりやニートの若者を対象に行っている中間就労の場で作られた野菜やおにぎり、味噌を店舗で販売している。子育て女性には、週3日や時間を考慮した就労の場を提供している。

その5. 住民の手づくり品が並ぶ	計画通り	オープン以降、野菜や手作り加工品等の出店も増えており、地元産コーナーを設けて販売の促進を行っている。
その6. 防災時の物資供給拠点として	計画通り	食料品を中心に生活用品が揃うことから、災害時に対応できる体制を進めている。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
<p>オープン後3ヶ月が経過した11月27日には、買い物客の要望に応えるため販売棚を増設し、地元産物を中心に品揃えを強化した。人気の手作り惣菜や弁当も品数が増え、スタッフの工夫により「アイマートパーガー」等の人気商品も生まれてきており、来客数の増につながっている。交流スペースの利用もヘルス&ワーク倶楽部が本格的に移働し、日常のイートインや休憩、休日のイベント開催等での活用も増えている。</p> <p>移動販売、宅配サービスなど住民に寄り添った事業展開により、より付加価値を高めたスーパーとして運営を図っていくことで、地域の安心と憩の拠点になるものと確信している。</p>

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥16,577,000	¥16,577,000	¥16,577,000	100%
	管理的経費	¥0	¥0	¥0	¥0	#DIV/0!
合計		¥0	¥16,577,000	¥16,577,000	¥16,577,000	100%
補足説明		特になし				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>旧店舗が閉店して2年のブランクがあったことから、その間にこれまでの利用者は生協の宅配や別の方法で必需品を調達していたこともあり、すぐに顧客として戻ってくる状況には至っていない。日々の営業努力を重ね、「みんなの店」コミュニティマートとして開かれた店舗づくりを進める。広報や住民ニーズに合った商品の仕入、サービスの提供を進める中で関係性を高め、顧客満足度を高めていくことで、来客者の増加を目指す。</p>

VII. その他

自由記述

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	中日新聞 8/27、8/28（滋賀版で掲載）、読売新聞 8/28（滋賀版で掲載）、京都新聞 9/2（滋賀版で掲載）、NHK放送 8/27（関西地区で放送）、びわこ新聞 10/1（新聞折込） スマイルネット オープン1年前追跡取材しながら放送、オープン後30分番組に編集され放送、KBSラジオ「ほっかほかラジオ」出演
広報制作物等	無	
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	